

## ゆう杉並における障害のある中・高校生への対応について

### 1 障害児の日常的な利用状況

#### (1) 個人単位

利用者	利用状況
軽度発達障害の養護学校高等部男子	TVゲーム、ビデオ視聴等を目的に、週に3日程度、単独で来館。中学時代から、他の中高生が企画するTVゲーム大会にもよく参加している。
アスペルガー症候群の定時制高校男子	担任、養護教諭から受入れの相談があり対応。初回教諭が付き添ってきた後、単独、友人を伴って、時々来館する。
知的障害の高校生男女各1名	ヘルパーさん2名の付き添いのもと週2回程度来館。体育室でスポーツ、スタジオでカラオケ等を楽しむ。
中学生女子	心障学級在籍の友人同士2名で来館。職員とのコミュニケーションが楽しみの様子
聾学校高等部男女3人	体育室で卓球やバドミントン、スタジオでピアノを弾く。
ADHD 高校生男子	ゲーム、スポーツ等いろいろのジャンルの活動に積極的に取り組む。
知的障害高校生男子	中学時代からゲーム、国際交流プログラムなどに参加。自主企画の立案にも取り組む。
知的障害男子(心障学級)	中学(心障学級)、養護学校高等部と足繁く通う。その間、利用者間や対外的に頻繁にトラブルを起こし、職員が対応する。その後ゆう杉を巣立ち作業所に。

#### (2) グループ

グループ名	利用状況
フォスター	数年前から利用。陶芸、おやつ作り等のプログラムに、介助者の付き添いのもと参加。グループ側と協議の上、グループメンバーだけでの陶芸活動を組んだこともある。
よりみちクラブ	最近、時々利用あり。近々、職員同士で懇談の予定

## 2 障害児を対象とした取り組み

年 度	事業名	内容及び実施状況
平成18年度	ゆうカフェ	3回程度実施予定。簡単な調理、試食、ゲームなど。中心は障害児で、健常児の参加も受け付ける。
平成17年度	食べ物作り	ホットケーキ(7人)、手打ちうどん(4人)の2回実施
平成15・16年度	おやつ作り	月1~2回、2~3人が介助者とともに、15人ほどの健常児に混じって参加
平成14年度	陶芸活動	夏休み中及び2~3月に延べ22回実施、55人参加

※ 区内の関係団体に働きかけ、参加を促す。18年度は、心障学級、養護学校にもチラシを配る等 PR を強化。

## 3 ゆう杉並として今後できそうなこと

- 比較的軽度の障害児が、個人(単独)で利用できることの PR に努める。
- 障害児が参加しやすいように配慮したプログラムを定期的を実施。その都度、誘い掛けをすることで、行きにくい雰囲気を少なくするよう取り組む。
- 支援グループ、デイサービス事業者との意見交換・情報交換